



2019 11  
令和元年

誌面に掲載した記事・写真等の無断複製・転載等はお断りします。  
お問い合わせ・ご意見は狛江市地域活性課へ

発行 ● 狛江市地域活性課  
〒201-8585 狛江市和泉本町1-1-5  
☎3430-1111 FAX3430-6870  
Email=wacco@city.komae.lg.jp

編集・制作 ● 特定非営利活動法人 k-press  
〒201-0003 狛江市和泉本町1-35-3  
ル・ミリオン・イイダ3階A号  
☎3430-6617 FAX3430-6743

# 幅広い年代がプレー楽しむ

## 狛江市民ゴルフ連盟



市民ゴルフ大会

東京オリンピックの前年の昭和38年に設立され、市内のスポーツ団体の中でも古参に属する。設立に合わせて朝霧カントリークラブ（静岡県富士宮市）で催した初の市民ゴルフ大会には、参加者が貸し切りバス2台で出かけたほどで、当時の人気の高さを物語る。狛江市体育協会の発足に合わせて43年に同会へ加盟した。連盟には地域や団体ごとに結成したクラブ単位で加入し、現在は12クラブ約160人が会員になっている。30代から80代まで会員の年齢は幅広いが60代と70代が多いという。同連盟では毎年6月に会員を対象にし

た連盟大会を都ゴルフクラブ（山梨県都留市）で、10月に会員以外の人も参加できる市民ゴルフ大会を相模湖カントリークラブ（神奈川県相模原市）で開催し、多くの人が参加する。また、クラブごとに月例会やゴルフ大会などを催し、技術の向上と会員相互の交流を深めている。栗山理事長は「ゴルフは多くの人が手軽に楽しめるスポーツとして親しまれています。高齢者と若者が一緒に楽しめるのも大きなメリットです。参加者を公募する市民大会は、初参加の人もおり、いつもと違うメンバーでプレーするので刺激になり、互いに交流を深められます。長くプレーしている会員が多く、高齢化の傾向にあるので、若い人や女性に積極的に参加してもらい、生涯スポーツとしてのゴルフの魅力を伝えていきたいです」と話している。問い合わせ☎3480-0931小杉さん。

# 大会開催や普及・育成に力注ぐ



## 狛江市ビーチボール協会



スポレク・ビーチボール大会

同じ大きさのコートで1チーム4人の選手が柔らかいポリ塩化ビニール製のボールを打ち合うバレーボールに似たニュースポーツ。老若男女を問わず気軽に楽しめる一方で、テクニクやチームワークが要求されるなど奥が深いため、多くの愛好者がいる。

狛江市は平成初め頃から多くのチームができたため、関係者が集まって平成14年に協会が発足、同時に体育協会へ加盟した。現在は5団体のほか、個人会員も数十人所属している。体協理事長、総務部、競技部、審判部、指導普及部に分かれて、大会の開催や普及活動などを行っている。

協会発足の翌年から5月に狛江市ビーチボール大会顧問杯を開催している

ほか、9月に催すスポレク・ビーチボール大会には毎年、小学1年生から80代まで250人を超える市民が参加する。他地区のクラブや愛好者団体との親善大会も年2回催している。また、都のビーチボールジュニア育成事業に協力、少年少女ビーチボール教室を年10回開き、後継者の育成も行っている。

富永会長は「狛江は都内の他の地区と比べてビーチボールが盛んで、ジュニア教室に参加した子が成人して大会に参加することもあるので、将来が楽しみです。だれでも簡単にできるので、生涯スポーツとしてもっと裾野を広げていきたい」と話している。

問い合わせは☎080-5513-0529三角さん。

狛江市ビーチボール協会（富永茂和会長）は市内のチームの連携と交流を図るとともにニュースポーツであるビーチボールの普及活動に取り組んでいる。

ビーチボールは昭和50年代始めに富山県朝日町で考案され、バドミントンと

## ラグビーワールドカップ

### 日本・サモア戦で喜び爆発

ラグビーワールドカップ2019のパブリックビューイングが10月5日田にメビウス∞えきまえ広場で催され、訪れた人たちは広場に設置された大型スクリーンの中継映像を熱心に見つめていた。

この日は午後2時15分からオーストラ



パブリックビューイングで日本代表の活躍に歓声を上げる人たち

リア代表対ウルグアイ代表、イングランド代表対アルゼンチン代表、日本代表対サモア代表の3試合が放映されたが、7時30分からの日本対サモア戦には多くの人が訪れ、会場を埋めた。なかには日本代表の紅白のレプリカユニフォームを着た人も多く、日本代表がトライを決める度に歓声を上げ、勝利が決まると喜びを爆発させていた。

### 駅前でボランティアが活躍

W杯の試合会場となった調布市の東京スタジアムへ向かうシャトルバスが発着する狛江駅では、開催日に大会のボランティアがスタジアムへの案内やW杯のPR、パブリックビューイングの告知などを行った。

駅の改札口前には出場国のラグビー

ボールで作ったタワーや噴水広場横に大会マスコットのレンジーの像などが立てられムードを盛り上げ、記念写真を撮るファンも多かった。

狛江駅を担当したボランティアは10数人で、試合開始の約3時間前から2人1組になり1時間交替で改札口前やバス乗り場などで観客を誘導したりする活動を行った。ボランティアたちは「狛江は駅構内にラグビーの絵手紙を掲示したり、駅前をライブを開くなど温かい雰囲気を感じられました」と話していた。



バス乗り場を案内するボランティア



狛江二中と合同チームとの対抗戦

## 狛江市立中学校スポーツ対抗戦

### 野球

野球の狛江市立中学校スポーツ対抗戦が8月8日困に狛江第四中学校で催され、4校合わせて34人の選手が参加した。

3年生が部活を卒業、試合は1・2年生の新チームで行われたが、狛江第一中学校、狛江第三中学校、狛江第四中学校は部員が少なく、2人しかいない学校もあり3校で合同チームを編成、狛江第二中学校と対戦した。近年は学外の硬式野球クラブに入る子が増える一方、中学校の部員は減少傾向にあり、昨年の対抗戦も一中和四中が合同チームを編成したが、3校合同は初めてだという。選手は中学校から野球を始めた生徒も多いため、各校ともまず野球を楽しめるように基

礎から指導している。練習は週5日で、部員が少ない中学はキャッチボールやノックが多いが、部員は熱心に取り組んでいるという。3校合同チームは、日程が合わず合同練習が思うようにできなかったが、対抗戦では選手同士が互いに声をかけ合うなど、全員が一体となって試合に臨んでいた。選手たちは「試合ができてすごく楽しく、貴重な体験ができた。合同チームは他校の選手と交流でき、刺激を受けるなどメリットも多いです」と話していた。試合は6対1で二中が3校合同チームに勝利、昨年に続いて優勝した。二中は部員が21人おり、東京都中学校野球選手権大会第9ブロックでベスト8に入るなど好成績を収めている。キャプテンで2年生の丸山朔さんは「優勝できて良かった。より強いチームを作るため、もっとがんばります」と意気込んでいた。

## 11月のスポーツカレンダー

- ショートテニス5・12・19・26日 11:25西和泉体育館 狛江〇くらぶ ☎080-1327-9789松沼
- 体操教室(女性)6・13・20・27日 11:30市民総合体育館 狛江〇くらぶ ☎090-5829-8069前川
- バレーボール6・13・20・27日 16:15西和泉体育館 狛江〇くらぶ 松沼
- バドミントン11・18・25日 11:25西和泉体育館 狛江〇くらぶ 松沼
- 吹矢教室7日 9:00・23日 11:25市民総合体育館 狛江〇くらぶ ☎090-1437-2420田村
- 卓球を楽しむ会11日 9:00市民総合体育館 狛江〇くらぶ ☎090-9103-7131山本
- \* イベント名、開催日・期間、開始時間、会場、主催、問い合わせ先(2回目以降は電話番号省略)の順。